

# 令和6年度事業計画書

自 令和6年 4月 1日

至 令和7年 3月31日

## I 公益目的事業

### 1 研究事業

事業名	事業の内容
志布志港における地震・津波時による港内漂流物の移動解析と航行船舶に及ぼす影響に関する調査研究	<p>東北地方太平洋沖地震以降、大規模津波を想定した港湾への影響や早期復旧に係る検討が進められている状況であり、港内の漂流物対策については重要かつ喫緊の課題となっている。</p> <p>これらの漂流物対策を検討するうえでは、津波による港湾貨物の移動及び対流状況等の予測結果が必要となる。</p> <p>本研究では、九州で唯一の中核国際港湾に位置付けられコンテナ取扱量が飛躍的に上昇し、穀物部門における国際バルク戦略港湾にも指定され、近年、中国、韓国等への材木輸出が急激に増加（全国1位）している志布志港において、南海トラフ巨大地震による津波が発生した場合、港内漂流物となり得るコンテナ、木材、在泊船舶等がどのように漂流するかについての移動解析を行うとともに、解析結果から航行船舶に及ぼす影響について検討し、船舶が航行を続けるうえで航路障害物や航行にあたっての安全性について関係者に周知することにより、航行船舶の安全に寄与することを目的とする。</p>

### 2 調査事業

事業名	事業の内容
1. 港湾計画改訂に伴う船舶航行安全対策調査研究	港湾計画の改訂に伴う船舶交通についての諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
2. 海上工事に伴う船舶航行安全対策調査研究	海上工事に伴う海上交通流の変化等新たに生じる海上交通の諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
3. 船舶大型化に伴う船舶航行安全対策調査研究	船舶大型化に伴う入出港及び着離岸等航行安全対策について調査研究する。

### 3 情報提供事業

事業名	事業の内容
1. 航行安全支援業務	<p>海上工事に関し、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに情報提供する。</p> <p>更に、ホームページを活用し広く一般に安全情報を広報周知する。</p>

2. 海難防止強調運動の実施	全国海難防止強調運動における運動方針を受け西日本、南九州、沖縄地区の推進連絡会議を開催し、推進方法を企画、策定し、実施する。
3. 海難防止啓発活動	海難防止啓発ポスター及び海難防止関連グッズを作成して啓発活動を支援する。
4. 講習会	① 西海防セミナー 年2回（北九州市、福岡市）、海難防止に関する講演を実施し、海難防止に関する啓発を行う。 ② 安全講習会 海上工事作業従事者に対し、海域の特性等を勘案した講習会を実施する。
5. 広報活動	① 会報の刊行 会務、調査研究の成果等を取りまとめ「公益社団法人西部海難防止協会会報」として会員及び関係者に年4回配布する。 ② ホームページの活用 海事関係者はもとより広く社会一般に広報し、海難防止思想を啓発して、海難防止に資する。 ③ 海事広報展示館での周知宣伝 海事広報展示館（らいぶ館）の展示物を充実させ、海事思想の普及を図り、海難防止活動を実施する。

## II 収益目的事業

### 調査事業

事業名	事業の内容
1. 特定船舶大型化に伴う船舶航行安全対策調査研究等	船舶大型化に伴う入出港及び着離岸等航行安全対策について調査研究する。
2. 特定船舶の入港に係る解析調査等	船舶の入港に関し委員会報告書に基づく入港基準と航跡を解析調査する。
3. 特定洋上風力に係る船舶航行安全対策調査研究	洋上風力設置に伴う適地エリア、工事中等の船舶航行安全対策を調査研究する。